

西条市の移住者増加の要因について

～新居浜市との比較事例研究より～

1220505 徳永健斗

指導教員 肥前洋一

1. 研究背景

愛媛県西条市が「住みたい田舎ランキング」において、若者世代部門で三年連続一位、2021年には全部門(若者世代・シニア世代・子育て世代)で一位を獲得した。実際、西条市は移住者数を年々増加させている。

2. 研究目的

愛媛県西条市が移住者数を増加させている要因を明らかにする。

3. 調査・分析方法

よく似たシステムデザイン(差異法)に基づく比較事例研究を行う。西条市と自然環境、人口統計が似ている一方、移住者数が異なる市として新居浜市を取り上げ、両市の相違点を見出す。そのために、両市のホームページを中心に移住政策を含めた情報収集、ヒヤリングを行う。先行研究で指摘されている複数の移住要因毎に両市を比較する。

4. 分析結果

両市には「地域住民と移住者のコミュニケーションづくり」に違いが見出された。西条市では独自の政策として一泊二日無料体験ツアーを行っており、ツアー中に実際に移住した人との交流の場が設けられていた。

5. 考察・結論

西条市という「場所」を案内するのではなく「人」も合わせて案内していることが、移住の決め手になっている。つまり移住者と地元の人との交流を促進することにより地域が活性化され、より住みたいと思われるまちになるという好循環が生まれていると考える。